

令和6年度第2回八千代市福祉有償運送運営協議会会議録

開催日時：令和7年3月17日（月）午前9時58分から午前10時36分まで

会場：八千代市役所旧館4階第1委員会室

出席者：江守会長，西川委員，唐澤委員，佐藤委員，中本委員，平野委員，井上委員，
原田委員 計8名

欠席者：上田委員，廣瀬委員

事業者：社会福祉法人生活クラブ，特定非営利活動法人ユーアイやちよ

公開又は非公開の別：公開

傍聴人：0人（定員5人）

議題1 会長・副会長の決定について

議題2 社会福祉法人生活クラブにおいて実施する福祉有償運送の変更申請について

議題3 特定非営利活動法人ユーアイやちよにおいて実施する福祉有償運送の対価の変更に
ついて

配布資料 資料1：社会福祉法人生活クラブ 申請資料

資料2：特定非営利活動法人ユーアイやちよ 対価の変更に係る資料

議題1 会長・副会長の決定について

会長：江守委員，副会長：唐澤委員 と決定した。

議題2 社会福祉法人生活クラブにおいて実施する福祉有償運送の変更申請について

事業所：当法人では，高齢者や障害児者の支援，子育て相談や相談支援を業務として行っております。船橋の事業所では，既に習志野と船橋で福祉有償を実施しており，八千代市の他の事業所の閉業に伴い私どもの事業所で利用者を受け入れる中で，福祉有償運送を必要とされる方がいらっしゃったことから，この度協議のお願いをさせていただきました。

質疑応答

質疑1

江守会長：他市で既に実績があり，八千代市でも行いたいとのことですが，料金については資料のとおりで他市でも同様ですか。

事業所：他市と同じです。

質疑 2

原田委員：八千代市の撤退した事業所の利用者等を受け入れられているとのことですが、八千代市で拠点を作る予定はありますか。

事業所：今までも八千代市の方にヘルパーを派遣しています。八千代市の方でも対応できる方がいれば支援をしていきたいと考えています。

原田委員：今後、八千代市の方の利用が増える等の見込みはありますか。

事業所：相談員の方から話が来て、利用者の希望する地域や時間が合えば受け入れるという形になります。今のところそういった話はないです

原田委員：今回エリアを広げたことで、運転される方を増やしたりしますか。

事業所：福祉有償運送については、積極的にというのは正直なくて、利用者の状況に応じて必要とする方がいれば対応していますので、増やしたりとかはないですが、今後必要とする方は対応していきたいと思っています。

原田委員：最後に、料金設定はいつからこの金額か教えてください。

事業所：10年以上前から料金は変わっていません。本部が設定しますので、ガソリン代や物価等を見て、今後上がる可能性はあるかとは思いますが、今のところそういった話は聞いていません。

質疑 3

江守会長：運転される方の高齢化が進んでいないか教えていただきたいのと、今後の継続性について、収益が本体事業を圧迫していないか懸念しています。対価を上げるにも、他の市町村でも合意を取らなければいけないので非常に手間だと思いますが、ご検討いただいた方が良くと思います。

事業所：ヘルパーの高齢化はかなり進んでいて、ただその中でも運転者についてはある程度線引きをしていて、主に4～50代を中心に登録をしています。ただ、ヘルパーも年を取りますので、高齢化が進んでいった場合には事故が起きないようやり方を考えたいと思います。

採決結果：賛成者全員により承認

議題 3 特定非営利活動法人ユーアイやちよにおいて実施する福祉有償運送の対価の変更に ついて

事業所：対価について、これまで初乗り3kmまで500円、以降1km150円としていたのを、初乗り2kmまで500円、以降1km200円として、土日祝日や早朝、夜間などの時間帯は、初乗り2kmまで600円、以降1km240円、対価以外の対価について、乗降介助の料金を300円から500円に変更させていただきたいと考えております。その他の待機料金や年会費は変更ありません。変更理由としまして、やはりガソリン代の高騰や最低賃金の上昇で、元々利益性のあるものではないですが、収益的にかなり厳しいため、上げさせていただきたいと考えております。変更予定日としては、協議依頼には4月1日と書かせていただきましたが、周知等もあるので5月になると考えております。

質疑応答

質疑 1

西川委員：会員の方にすでに周知はされていますか。

事業所：まだ決定ではないのでしていません。上げる 1 か月前までには周知をしますの
で、会員の皆様に案内をして了解いただいてから上げる予定です。

西川委員：ドライバーは 6 名とのことですが、ドライバーの確保等が他の事業所でも課題
になってきていますが、そのあたりの対策等はされていますか。

事業所：なかなか厳しく、ハローワークなどで求人募集しても、こういうボランティア
的なことに理解がある方でないと難しい部分もあります。私どもは、ドライバ
ーがみんな介護の資格を持っていて、運転と介助の両方を行う形をとっていま
すので、高齢の方だと難しいのかなと思います。現状としては、かなり厳しい
状況だと思っています。

質疑 2

江守会長：収益について、資料に令和 5 年度は約 2 0 0 万と書かれていますが、どの程度
収益を圧迫しているかと、対価を上げたらどの程度改善されそうか教えてくだ
さい。

事業所：収入は資料のとおりで、人件費が約 1 5 0 万、その他が約 1 1 0 万程度かかり
ますので、約 5 0 ～ 6 0 万円の赤字となっています。車両の減価償却がすべて
終了した状態であり、車の入替があるとさらに厳しくなるので、そういった
部分もあって今回お願いをしております。影響については、2 k m 以下の利用
者が多いことと、土日や早朝・夜間は病院もやっていないところが多いので、
利用自体はそこまで多くなく、収益に大きな貢献をするかはわからない部分も
あります。元々、介護保険サービスの収益を当ててやっていますので、そこが
少しでも改善すればと思っています。

江守会長：変更後もまだまだ厳しいということで理解しました。

質疑 3

江守会長：高齢化も心配される部分ですが、先ほども質問がありましたが、工夫されてい
ることや気を付けている点をもう少し教えてください。

事業所：運転手 6 名となっていますが、ドライバー専属はそのうち 2 名で、1 名は 7 5
歳になっています。8 0 歳になるとさすがに厳しいので、何とか代わりを見つ
けたいと思っています。

採決結果：賛成者全員により承認

議題終了後に意見交換

江守会長：今回、対価の議論がありましたが、国交省の方で何か動きはありますか

西川委員：目安が約８割までに上がったため、他の事業所も料金の変更が行われている印象です。

江守会長：変更手続きで手間が多いとなかなか手が出ないこともあるかと思いますが、そのあたりの緩和策はありますか。

西川委員：協議が調わないと出来ないのではなかなか難しいですが、委員の招集が難しい場合は書面でも良いということにはなっています。

江守会長：事業所に情報が行き届いていないこともあると思うので、そのあたりをケアしてほしいかなと思います。高齢化で安全性が担保されなくなりつつあるのが怖いなという部分もありますが、料金設定については、継続性にも影響することかと思しますので、対策や緩和策などの情報があれば随時流していただければと思います。